



下香貫と大平をつなぐ！ ～白熱！景観検討！～



ふさわしいのはどんな色？

静岡県では、公共施設を作るとき、周辺の景色に調和するよう心掛けています。静浦バイパスでも2月5日（水）に景観の専門の先生方をお招きして、景観の検討会を開催しました。今回は、これから作る（仮称）大平高架橋について、色彩のトータルコーディネートを題材に議論しました。



「思い」と「知識」を重ね合わせて

最初に、準備したいくつかの色彩案を見比べながら、じっくりと室内で議論しました。大平の美しい田園風景を活かしたいという思いが先生方にしっかりと伝わり、議論に熱が入ります。



実際にどんな風に見えるかな？

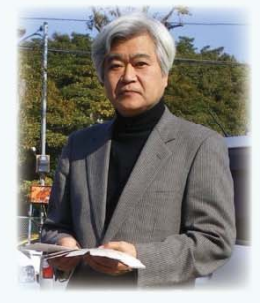
次に現場に足を運び、色のついたパネルを用いて実際にどのように見えるかを確認しました。太陽光の影響で室内で見るとまた一味違う印象を受けます。



お世話になった先生方



天野光一先生
日本大学理工学部教授



吉田慎悟先生
武蔵野美術大学造形学部教授
(株)クリマ 代表取締役



色あせない、未来のカタチ

今までの検討をふまえて、どんな色彩にしたらいいか再度議論を行いました。素材の特性（色）や色彩の経年変化などに配慮し、時代に左右されないデザインを目指します。

